



平成26年度 第1回歴楽講座

布施弁天の歴史

関東三弁天の一つであり、千葉県指定重要文化財でもある布施弁天は、正式名称「紅龍山布施弁天東海寺」と称し、弘法大師御作といわれる大弁財天を本尊とする、長い歴史のあるお寺です。今回の歴楽講座では、ご住職の下村法之氏より布施弁天の歴史についてお話をしただき、本殿や鐘楼をはじめ、境内の普段なかなか見せていただけない所などもご案内いただけることになりました。

また講座の後、お時間がある方々には、周辺古墳や古い商家など史跡旧跡なども一緒に見学する予定を組んでおります。



←県の重要文化財でもある楼門



全国でも珍しい多宝塔式の鐘楼→

日 時：平成26年5月25日（日）

13時開場 13時30分～15時30分の予定

講 師：下村 法之 氏（紅龍山布施弁天東海寺住職）

会 場：紅龍山布施弁天東海寺 客殿にて

東武バス 柏駅西口より「布施弁天行」終点下車すぐ

阪東バス 我孫子駅北口より「あけぼの山公園行」終点下車徒歩15分

※駐車場もありますが、あくまでも檀家様のための駐車場です。

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加費：300円（資料代込）

その他：申し込み不要

主 催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

問合せ：岸事務局長（Tel 04-7131-3036）